

子育てひとくちメモ10, 「失敗は成長のチャンス」

子どもが適切な行動をしているとき何か声をかけるのが「勇気づけ」のコツでしたが、問題解決に失敗しているときは、それ以上に勇気づけが必要です。

例えば、試験の成績が悪かったとき、「駄目じゃないの、こんな点では。勉強しないからこんな点をとってしまうんじゃないの!」と言うと、子どもは「私には能力がある」と感じませんし、「親は信頼できる仲間だ」とも感じられなくて、勇気をくじかれます。

子どもは悪い成績をとったことですでに落胆していますから、そこへさらに追い討ちをかけると、さらに落胆するでしょう。子どもが元気を取り戻せるように援助しないといけません。

そのためには、まず子どもの考えを聞いてみましょう。例えば、「どうして成績が悪かったんだと思う?」「これからどうしたらいいと思う?」というような質問を、冷静に問いかけます(怒って言わない)。そうすると、子どもは自分の力で考えて、次回は失敗しないように工夫してくれるでしょう。(つづく) (津山工業高校教育相談室)